

第2編

第3章

地球温暖化対策の推進

杉並区の環境の現状と取り組み

～第3章～ 地球温暖化対策の推進

1 地球温暖化対策の実施

地球温暖化の問題は、地球規模の課題であると同時に、日々の生活や事業運営と深く関わる地域の課題でもあり、区民や事業者の積極的な環境配慮行動がなければ解決できません。

平成17年9月4日に発生した集中豪雨では、多くの区民が住まいや家財などに大きな被害を受けました。こうした集中豪雨の発生など、気象状況の変化は、地球温暖化やヒートアイランド問題との関係を見逃すことはできません。この点を見ても、私たちは地球環境に負荷を与えない持続可能な社会を構築しなければなりません。環境を保全し、次世代の子どもたちによりよい環境を引き継ぐことは私たちの責務です。

杉並区は平成18年度に「杉並区地域省エネ行動計画」を策定しました。この中で、区の二酸化炭素(CO₂)の排出量を平成22年度までに平成2年度比で2%削減することを目指しています。この数値は、国が「京都議定書目標達成計画」で示した対策の効果を大きく上回る高い目標値です。エネルギー消費量・二酸化炭素(CO₂)排出量共に将来的に増加が見込まれる家庭及び業務部門の割合が大きい杉並区にとっては、家庭及び事業者の協力なしには達成できない極めて厳しい目標ですが、環境先進都市として、あえてこの目標を目指します。

杉並区は環境先進都市としての名に恥じぬよう、区民、事業者の皆様と力を合わせて、省エネルギーの推進に取り組んでまいります。

◆ 住宅用太陽光発電システム機器の設置費補助

再生可能エネルギーの有効利用を促進するため、平成15年度より「住宅用太陽光発電システム機器の設置費補助」事業を実施しています。平成18年度の補助件数は、67件でした。

◆ 雨水貯留槽設置費補助

「雨水貯留槽」は屋根に降った雨水を貯めるタンクで、貯めた水は植木の水やりや災害時の消火用水やトイレの水などにも活用できます。

区では「雨水貯留槽」を設置する方に対し、その費用の一部を助成しています。平成18年度の補助件数は、16件(大型2、小型14)でした。

◆ 「省エネ宣言」受付窓口の開設

平成18年10月に開催した「環境博覧会すぎなみ2006」会場内、エネルギーハウスにて、実践できる省エネ行動を宣言していただく受付窓口を開設しました。2日間で、大人817人、子ども530人の区民の方に宣言していただき、家庭での積極的な省エネ行動の実践への大きなきっかけ作りとなりました。

「省エネ宣言」大人用

暖房は20℃、冷房は28℃に設定します。
こまめにシャワーや水道の蛇口を閉めます。
電車やバスなど、公共交通機関を利用します。
エネルギー効率のよい機器に取り換えます。
買い物はマイバッグを持参し、過剰包装を断ります。
使わないときは、機器の主電源をオフにします。
太陽光など、再生可能エネルギーの使用を増やします。
ご近所の人にも省エネをすすめます。

「省エネ宣言」子ども用

暖房は20℃、冷房は28℃くらいにします。
シャワー時間を1分間みじかくします。
元気に歩きます。
みどりを育てます。
買い物にはマイバッグを持っていきます。
だれもいないところの明かりを消します。
早寝・早起きをします。
友だちにも省エネをすすめます。

2 IS014001 の推進

区は平成18年6月地球温暖化防止を地域全体で取り組むため「杉並区地域省エネ行動計画」を策定しました。作戦名称を「地球を救え p(^-^)q すぎなみ省エネ作戦」として6つの作戦を実行しています。作戦6 行政の省エネ作戦（環境先進自治体作戦）として①行政が自ら率先して省エネ行動を実践していきます。②区施設などに省エネ設備や再生可能エネルギーを積極的に投入していきます。区も区内最大の事業者の責任として、より一層の取組みが求められています。

また、18年11月に改定した「杉並区地球温暖化対策実行計画」（第2次）においても、平成22年度までに平成11年度比で温室効果ガスを10%削減していきます。そこで区は、平成13年6月から、区の全施設（教育機関を除く）において、環境マネジメントシステムの運用を開始した、区長部局ISO14001（平成13年10月12日認証取得）と、教育機関ISO14001（平成15年2月14日認証取得）を車輪の両軸に、この2つの計画を推進していきます。

◆ 環境マネジメントシステムのたゆまぬ改善をすすめます

杉並区環境マネジメントシステムは、外部審査機関による定期審査または更新審査を毎年受けています。環境マネジメントシステムが適切に維持管理されているとの評価を受けていますが、運用上の改善する余地もいくつか挙げられています。あらためて環境管理システムの継続的改善に向け、課題の整理と見直しを行い、システム運用の効果・成果をより確実なものにしていきます。区は、自ら環境マネジメントシステムを継続的に改善することで、環境負荷を低減させ、環境先進都市として、積極的にその責務を果たしていきます。

◆ 平成18年度の主な事業活動

① 環境目的・環境目標の達成状況

項目	環境目的	環境目標	環境目標の達成状況		
			目標達成	目標不達成	設定なし
環境負荷軽減項目	19	28	22	6	-
環境保全項目	15	15	10	5	-
区民・事業者と行政の協働	8	8	7	1	-
計	42	51	39	12	-
			(76%)	(24%)	-

② 省エネルギー等の取組みによる削減効果の算定 — 対11年度(基準年度)比較 —

種別	CO2削減量		経費削減額	
電気	1,789,869	Kg	30,766,395.06	円
ガス	770,856	Kg	17,963,175.88	円
水道	—	—	55,526,972.00	円
用紙	—	—	25,731,840.00	円
ガソリン	7,385	kg	422,288.61	円
廃棄物	—	—	357,987.50	円
計	2,568,110	kg	130,768,659.05	円

